令和８年８月６日

令和８年度 学校関係者評価報告書

学校法人大原学園
札幌情報 IT クリエイター専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人大原学園 札幌情報 IT クリエイター専門学校 学校関係者評価委員会は、令和７年度自己点検・評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施し、以下の通り報告いたします。

１．実施日時

令和８年８月５日（水）　16 時 00 分～16 時 50 分

２．実施会場

大原学園 札幌校

３．学校関係者評価委員

（外部委員）

小林　裕作	氏	一般社団法人北海道情報システム産業協会　事務局長
奥山　雅文	氏	キーウェア北海道株式会社　代表取締役社長
天川　晶寛	氏	キーウェアメディカル株式会社 札幌センター エキスパート 大原簿記情報専門学校札幌校 卒業生

（事務局）

渡邉　良憲	札幌情報 IT クリエイター専門学校　校長
坂本　友之介	札幌情報 IT クリエイター専門学校　部長代理
間山　あゆみ	札幌情報 IT クリエイター専門学校　次長

４．令和 ７ 年度 学校関係者評価報告

本評価においては、令和７年度自己点検・評価報告書に基づき、学校運営及び教育活動全般について評価を行うとともに、さらなる改善・向上を図るため、自己点検・評価の結果を踏まえて選定した４項目を重点評価項目として設定し、学校関係者による重点的な審議を実施する。

なお、重点評価項目以外についても、自己点検・評価報告書に基づき評価を行い、その結果を学校関係者評価委員会総括に反映する。

下記表中「 評定 」の基準

＜３段階＞

３：基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている

２：概ね基準を満たしている

１：基準を満たしておらず改善が必要

【重点項目】

2-4　学修成果目標の達成状況

自己評定（達成度）	2

点検・評価項目	評価の視点
2-4-2　学生の進路に関する目標を定め、その目標を達成していること。	①学生の就職、進学等進路に関して具体的な目標を定め、その目標の達成状況を把握しているか ②卒業後の進路・キャリア形成に関する相談や指導などの支援体制を整備し適切に運用しているか ③卒業生の進路・キャリア形成状況等を踏まえ、当該専門学校の教育課程、教育方法、学修成果等を検証し、必要に応じ、それを踏まえた改善・向上策をとっているか ④卒業生、実習先・就職先など関連する企業及びその他組織の意見や在学生の意見を勘案するなど、多角的、継続的な視点に立った検証方法等について工夫をしているか

（1）総括

目標設定、就職希望者数、就職者数及び、各コースにおける就職率の把握はできている。また、担任制度下の具体的な就職活動指導、学内実施の各種就職説明会が内定に繋がっている。進学等に関する相談・指導に関しても、個別面談の実施、希望者への系列の通信制大学への編入案内等の支援を行っており、内定率 100%と学生のキャリアプランに沿った就職の実現を目指した効果的な指導は実現できている。

卒業生のキャリア形成を視野に、学生の希望を確認しながら、適性に合った企業選びを実践し、フリーター、非正規雇用の進路決定者を出さないための支援体制の強化は引き続き必要である。一部学生の状況把握に留まっている卒業生の進路・キャリア形成状況等の情報収集に関して調査方法を検討し、情報収集の促進と企業等からの意見を参考に、教育課程の改善を行っていく。

（2）学校関係者の評価・提言

適正に運営されている

3-3　学生生活に関する支援

自己評定（達成度）	2

点検・評価項目	評価の視点
3-3-1　カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	①学生生活等に関する相談体制を整備し、相談対応について、十分、学生に対して周知し、機能、活用されているか

（1）総括

担任による定期的な個人面接の実施により、学習目標の確認や学習に関する悩み等につき対応を行っている。担任だけでなく、上司・部署全体での情報共有を行い、同部署の教員が全員で対応する体制をとっている。また、その相談体制の構築の一環として、ハラスメント防止を含む教員と学生との関係構築に向けて取組を強化している。課題は、学生の価値観の多様化による担任負担の拡大である。家庭の協力が不可欠であるが、協力を得られないケースもあり、教員の学生相談スキル向上を継続して進める必要がある。カウンセリング等ができる専門医の配置などの検討も必要である。

（2）学校関係者の評価・提言

適正に運営されている

4-1　教員の配置、募集、採用

自己評定（達成度）	**2**

点検・評価項目	**評価の視点**
4-1-1　教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員について、採用基準等を整備し、適正に配置していること。	①法令上の基準を遵守し、学校の目的を実現し、目標を達成するための教育を十分に実施できるだけの教員を配置しているか

（1）総括

採用基準は整備され、採用計画に基づき、現時点で必要となる教員は確保できているが、専門性を有する人材の確保（採用活動）が、近年、困難となっている。各学科が目指す資格試験の制度や業界ニーズに対応するためには、専門性を有する人材の採用が欠かせず、引き続き、様々な採用ルートを模索していく必要がある。

一方で、採用活動だけでなく育成環境を充実させ人材の確保を図ることも検討する必要がある。育成環境を整えることで幅広い分野からの採用や校内での配置転換を進めることが可能となる。現状分析と分析結果に即した人材の確保を進めてほしい。

（2）学校関係者の評価・提言

適正に運営されている

4-3　教員の資質の向上

自己評定（達成度）	2

点検・評価項目	評価の視点
4-3-1　学校の授業の内容及び方法の改善を図るための FD(Faculty Development)など組織的な取組や教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	①教員の資質向上を図るために、研修計画を作成し、計画的に必要な研修を受講させるなど組織的な取組を行っているか ②教育の質の向上に向け組織的なファカルティ・ディベロップメント活動に取組んでいるか
4-3-2　教員の専攻分野における実務に関する知識・技術、技能を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。	①職業実践専門課程の認定校においては、企業等と連携した研修（専攻分野の知識等）を組織的に行っているか
4-3-3　教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。	①職業実践専門課程の認定校においては、企業等と連携した研修（指導力の向上）を組織的に行っているか

（1）総括

定期的に学生アンケートを実施するほか、上司の講義聴講等により専門性、指導力の把握・評価を行っている。教員の資質向上を図るため、企業研修や外部研修への参加、企業等と連携した教員研修を実施し、各学科が目指す資格試験の制度や業界ニーズに対応する教育が実践できるよう、教員の資質向上にも努めている。その一環として、自己啓発素材の提供等もより充実させていく計画である。

教員の継続的な資質向上に向け、より研修機会を充実させ、また企業等との連携を強化することにより、各学科が目指す資格試験の制度や業界ニーズに対応した教育の実践を期待する。また、学生の価値観が多様化する時代にあって、教員の時代に即した指導力向上は不可欠である。ハラスメント防止を含む教員と学生との関係構築に向けた取組の強化にも期待したい。

（2）学校関係者の評価・提言

適正に運営されている

５．学校関係者評価委員会総括

大原学園札幌校の「自己点検・評価報告書」について、重点評価項目以外の項目も含め、令和７年度自己点検・評価報告書に基づき確認・審議を行い、学校運営及び教育活動全般に関する評価を企業、卒業生、近隣住民の視点から検証を行った。

教育成果、学生指導、学校運営に関する取組は概ね妥当であると評価できる。学生や保護者のみならず、学生を採用する企業からも高い評価を得ており、良質な教育を提供できていると考える。

今年度の重点課題は「3-3 学生生活に関する支援」および「4-3 教員の資質の向上」に関連する、ハラスメント防止を含む教職員と学生との関係構築についてであった。今後も引き続き強化が求められる項目であり、社会のニーズに応じた教育を継続し、専門性を備えた人材を育成していくためには、学生相談体制の充実と、教員の時代に即した指導力向上が不可欠である。経験の踏襲にとどまらず、分析・研究を重ね、学生の信頼と満足度がさらに高まる教育の実践を期待する。

学校関係者評価委員会としては、今後も客観的な視点から提言を行い、大原学園札幌校が社会から一層の信頼を得られるよう支援していきたい。